



2010 年 4 月 20 日

ニューBMW X1 を発表

- プレミアム・コンパクト・セグメントにおける唯一の SAV。
- 日本市場の特性を考慮したボディ・サイズを実現。
- X モデル初となる後輪駆動モデルもライン・アップし、戦略的な価格を実現。

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役社長: ローランド・クルーガー)は、プレミアム・コンパクト・セグメントにおける唯一の SAV(スポーツ・アクティビティ・ビークル)「ニューBMW X1(エックス・ワン)」を、全国の BMW 正規ディーラーで本日より注文の受付を開始すると発表した。納車は、2010 年 5 月末からを予定している。

BMW X モデルは、1999 年に BMW X5、2004 年に BMW X3、2008 年に BMW X6 が誕生、今回発表のニューBMW X1 が 4 モデル目となる。BMW X3 ならびに BMW X5 は、それまでの武骨な SUV とは明確な一線を画す、オンロード走行性能を高めた SAV という革新的なコンセプトによって新たなセグメントを確立し、2008 年発表の BMW X6においては、スポーティでエレガントなクーペ・デザインと BMW X モデルの力強い存在感を兼ね備えた、世界初のスポーツ・アクティビティ・クーペと呼ばれるコンセプトを形成した。そして今回、ニューBMW X1 がプレミアム・コンパクト・セグメント初の SAV として、またしても新たなベンチ・マークを確立する。

ニューBMW X1 は、BMW X モデルの様々な特長を備えながら、新しいスタイルで BMW ならではの駆けぬける歓びを表現したモデルとなっている。高いアイ・ポイントがドライブ時に安心感をもたらすセミ・コマンド・シート・ポジション、開放感のあるインテリア・スペース、多彩な収納機能、自由自在にアレンジ可能なリヤ・シートなど、アクティブなライフスタイルにも柔軟に対応する使い勝手のよさと、BMW ならではの俊敏で爽快な走りを兼ね備えた、プレミアム・コンパクト・セグメント初の SAV である。また、ニューBMW X1 は開発段階から日本市場の特性を十分考慮し、一般的な機械式駐車場にも収まる全幅 1,800mm、全高 1,545mm のボディ・サイズを実現している。

モデル・ライン・アップには、インテリジェント四輪駆動システム xDrive を搭載したニューBMW X1 xDrive25i(エクスドライブ・ニー・ゴー・アイ)に加え、BMW X モデルにおいて初となる後輪駆動モデル、ニューBMW X1 sDrive18i(エスドライブ・イチ・ハチ・アイ)を設定し、ニーズに合わせたモデル選択が可能となっている。価格設定については、ニューBMW X1 xDrive25i は xDrive 搭載モデルとして初めて 5 百万円を切る価格とし、ニューBMW X1 sDrive18i は 4 百万円を大幅に下回る戦略的な価格とした。

Qt36728

メーカー希望小売価

格(消費税込み)

モデル	エンジン	トランスミッション	希望小売価格
ニューBMW X1 sDrive18i	2.0 リッター 直列 4 気筒 DOHC	6速 AT	¥ 3,630,000
ニューBMW X1 xDrive25i	3.0 リッター 直列 6 気筒 DOHC		¥ 4,800,000

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。
- 右ハンドル仕様。
- BMW Group Studio(東京都千代田区丸の内 1-9-2)にて、4月 21 日から 5月 16 日まで、ニューBMW X1 を展示予定です。

ニューBMW X1 の主な特長

- BMW らしいスポーティさ、自信に満ちた優雅さが印象的なエクステリア、機能的でモダンなインテリア。
- どんなシーンにも柔軟に対応する、自由自在にアレンジ可能なリヤ・シートと多彩な収納スペース。
- 日本市場の特性を考慮したボディ・サイズ。
- より少ないエネルギーでより高い性能を実現する「BMW EfficientDynamics」の設計思想に基づいた優れた環境適合性の実現。

BMW らしいスポーティさ、自信に満ちた優雅さが印象的なエクステリア、機能的でモダンなインテリア。

ニューBMW X1 の走りは、卓越した俊敏性と様々なシーンに対応する多様性を特徴としている。これらの特徴は、ボディ・デザインを見ただけでも理解することができる。ロング・エンジン・フード、ショート・オーバーハング、2,760mm のロング・ホイール・ベースなどが伸びのあるプロポーションを強調し、ニューBMW X1 のスポーティなキャラクターを表現している。

フロントは、力強いバンパーと切れ目なく一体化されたキドニー・グリルによって、存在感を強調するデザインとなっており、張り出したホイール・ハウス、エンジン・フードの上をキドニー・グリルまで伸びるプレスラインが、力強さを表現している。BMW の特徴である丸目 4 灯のバイ・キセノン・ヘッドライトは上部がマスクされており、水平方向の安定感を強調している。更にエア・インテーク下のシルバーのアンダー・ガードが、BMW X モデルの一員であることを物語っている。サイド・ビューでは、3 つの独特なラインが印象的である。ドア・ハンドル上をリヤへと力強く上昇するショルダー・ラインと、リヤへ向けてわずかに上昇するドアシル・ラインの組み合わせが、ダイナミックなウエッジ・シェイプを構成している。この 2 つのラインの間にいるキャラクター・ラインは、フロント・ドアでまず下降し、わずかに上昇しながらリア・ホイール・ハウスの直前でダイナミックに上昇してサイド・ビューに特別なアクセントを与えていている。このキャラクター・ラインの向かう先には、BMW の造形的特徴である「ホフマイスター・キンク」が

あり、キャラクター・ラインとサイド・ウインドウを視覚的に一体化させることにより、俊敏でコンパクトな印象を与えている。リヤのデザインにおいては、力強いホイール・ハウスと水平のライン、わずかに丸みを帯びながら互いにつながっているような印象の面構成が施され、伝統のL字型テール・ライトにおいては、シャープなラインによる新たな造形が施されている。さらに、シルバーのアンダー・ガードの装着により、BMW X モデルであることが強調されている。インテリアにおいては、面積の広いトリム・パネルとダイナミックなラインが、スポーティで若々しい印象を与えている。ダッシュボードは水平のラインによって分割されてドア・トリムへつながっており、幅広さを強調し、室内をより広々と感じさせるデザインとなっている。コックピットを取り囲むようなセンター・コンソールとダッシュボードのデザインによって、BMW ブランド特有のドライバー志向のコンセプトを実現。エアコンなどの操作パネルはドライバー側に僅かに傾けられており、全ての操作系統がドライバーから容易に手の届く範囲に配置される。BMW X モデルの特徴であるセミ・コマンド・シート・ポジションは、乗り降りが快適にでき、また良好な視界が交通状況を確認しやすくなるため、特に女性ドライバーでも安心して運転することができる。

どんなシーンにも柔軟に対応する、自由自在にアレンジ可能なリヤ・シートと多彩な収納スペース。

ニューBMW X1 は、その広々とした室内と共に、状況に合わせてシート・レイアウトを変更できる多様性を特徴としている。フル・サイズのリヤ・シートは、大人 3 人がゆったり座れる余裕があり、バックレストの傾きも調節可能。快適さを重視するときは最大 31 度まで傾けることができ、荷物スペースを優先したいときは、バックレストを垂直位置(カーゴ・ポジション)に調節することで、ラゲージ・ルーム容量を 420 リッターから 480 リッターまで増やすことができる。40:20:40 の割合で分割可能な可倒式バックレストは、さらに多くのラゲージ・ルーム・バリエーションを提供する。バックレストの中央部分のみをたたむと、4 組のスキー・セット、あるいは 2 組のスノーボードを積み込むことができる大きなスルーローディング式の開口部が現れ、4 組のスキー・セットを積んでも大人 4 人が余裕をもって座ることができる。ラゲージ・ルームは、リヤ・シートのバックレストを完全に折りたたむと、収納スペースの容量は 1,350 リッターに拡大可能である。

ニューBMW X1 には多彩な収納スペースも用意されており、ラゲージ・ルームには、ホイール・ハウス後方のフロア部分に 2 つの収納トレイがあり、またラゲージ・ルーム・フロアの下には収納トレイを装備し、様々な小物を収納するのに最適なスペースとなっている。運転席側のルーフライナーにはサングラス・ホルダーが、前後左右のドア・ポケットには飲料ボトル用ホルダーが装備され、カップ・ホルダーも前後席合計 4 個が装備されている。その他にも、12V 電源ソケットは、センター・コンソールに 3 カ所、ラゲージ・ルーム 1 カ所の合計 4 カ所に装備されている。

日本市場の特性を考慮したボディ・サイズ

日本の駐車場事情を考慮し、ニューBMW X1 では、多くの一般的なサイズの機械式立体駐車場にも収まる全幅 1,800mm、全高 1,545mm を実現した。大型 SUV は一般的な機械式立体駐車場への駐車は不可能であるが、ニューBMW X1 ではそれを実現可能とした

BMW EfficientDynamics の設計思想により優れた環境適合性の実現

より少ないエネルギーで、より高い性能を可能にする BMW EfficientDynamics の設計思想を、ニューBMW X1 にも数多く取り入れている。バルブトロニック、6速オートマチック・トランスミッション、マイクロ・ハイブリッド^{*1}(ブレーキ・エネルギー回生システム)、軽量構造と言った数々の最先端テクノロジーの採用により、優れた環境性能を発揮している。また、燃料消費量の低減と排出ガス抑制に寄与する空気抵抗の大幅な低減には開発の初期段階から取り組み、空力特性の最適化を図った結果、コンパクト SUV セグメントでもトップクラスの空気抵抗係数(Cd 値)0.32^{*2}を達成した。

*1: BMW X1 xDrive25i に装備。

*2: BMW X1 sDrive18i の値。

ニューBMW X1 の主な標準装備品

- バイ・キセノン・ヘッドライト
- ヘッドライト・ウォッシャー
- レイン・センサー、オートライト・システム
- コンフォート・アクセス
- マルチファンクション・スポーツ・レザー・ステアリング・ホイール^{*1}
- 自動防眩ドア・ミラー/ルーム・ミラー
- ライト・パッケージ
- 電動フロント・シート^{*2}
- 可倒式リヤ・シート(40:20:40 に分割可能)
- ETC 車載器システム(ルーム・ミラー内蔵タイプ)

*1: BMW X1 xDrive25i に標準装備、BMW X1 sDrive18i にはレザーライン・ステアリング・ホイールが装備となります。

*2: BMW X1 xDrive25i に標準装備、BMW X1 sDrive18i にオプション装備となります。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・サポート: フリーダイヤル 0120-55-3578 をご掲載ください。

受付時間: 9:00-20:00 年中無休

BMW ジャパン・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:
BMW Japan Corp. 広報室: 03-6259-8026(製品広報)